

新電池技術創作工房

産総研-企業連携による新電池開発とプラットフォーム



- 企業のもつ材料・技術のポテンシャルを引き出した新しい電池を産総研と共に構築
- 産総研のもつ材料技術・電池構築技術と融合、評価技術を適用
- 電池製作と性能実証・安全性評価・現象解析を産総研のプラットフォームで実施

研究のねらい

イノベーション創出には視点や発想の転換が必要かもしれません。意外なものが電池に使えるのかもしれませんが。トライしてみることも大事です。産総研の、新しい材料を電池にする技術、製造・評価技術を利用して、企業もつ電池への適用が可能な技術のポテンシャルをうまく引き出し、産総研の技術と融合して新技術の創生を目指しています。電池試作～評価解析まで行うプラットフォームで、産総研の博士研究員やエキスパートと共に悩み試み発見し、新技術創出・実用化促進を図りイノベーションを導きます。

研究内容

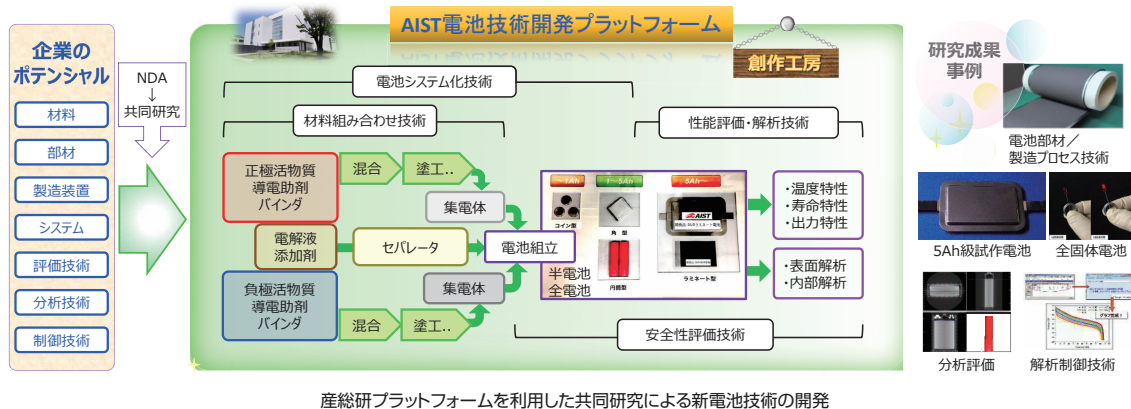
電池は様々な材料から構成されていますが、適切な材料の組み合わせ、適切な作製技術を選択することで、それぞれの性能を発現させ、ポテンシャルを引き出すことができます。産総研の技術やプラットフォームを利用して、個々の材料や技術が持つ性能や特性を見極め、既存技術と比較した特徴を見出し、次の展開に的確にフィードバックし研究を進めています。これまで新しい硫化物系高容量正極材料の創出やガラスを使った電池、全固体電池の開発、スラリー製造技術開発等で成果をあげています。

連携可能な技術・知財

- ・電池構成材料の組み合わせ技術
- ・用途展開を考える電池システム化技術
- ・様々なサイズでの性能評価・解析技術
- ・実電池での安全性評価技術

将来への技術展開

今後大幅に拡大する蓄電池の市場規模と幅広い利用分野に対応する技術開発・技術サポートを展開



- キーワード：二次電池・蓄電池、エネルギー材料、セパレータ、材料特性評価、安全性評価
- 連携先業種：製造業（化学）、製造業（金属製品）、製造業（非鉄金属）、製造業（石油・石炭製品）、製造業（輸送用機器）